

〔No. 23-24〕

令和5年11月15日

報道機関 各位

初開催！ 紅葉のライトアップイベント
京都西山・長岡天満宮花灯路 11月18日から
【試験点灯】前日の11月17日(金) 17時から実施



紅葉のライトアップイベントとして「京都西山・長岡天満宮花灯路」が11月18日～12月3日に、長岡天満宮（京都府長岡京市）で初開催されます。

長岡京市では、「京都・西山 長岡京もみじめり」として、11月11日（長岡天満宮は11月18日）から12月3日まで、長岡天満宮の花灯路に加えて、「京都屈指の紅葉寺」光明寺の特別拝観、「花手水発祥の寺」柳谷観音楊谷寺の紅葉ウィークが開催されています。

例年に比べて紅葉の色づきは少し遅いですが、間もなく見頃を迎える紅葉の知られざる名所を、京都市内の混雑を避けてお楽しみいただけます。

【11/18～12/3】京都西山・長岡天満宮花灯路 @長岡天満宮（ながおかてんまんぐう）

<京都西山・長岡天満宮花灯路>

日時：令和5年11月18日(土)～12月3日(日) 16:30～20:00

場所：長岡天満宮

*試験点灯 11月17日(金) 17:00～

取材いただける場合は、下記の上田までご連絡をお願いします。

●幻想的風景を演出する「京都西山・長岡天満宮花灯路」を新たに実施

長岡天満宮境内に、紅葉を楽しむための庭園として整備された「錦景苑」。これまで紅葉期には、庭園のライトアップを実施していました。

今秋から「錦景苑」のライトアップに加え、新たに「京都西山・長岡天満宮花灯路」が長岡京市観光協会の主催で開催されます。長岡天満宮の大鳥居から拝殿まで約300基の灯籠で照らし、幻想的な風景を演出します。

紅葉庭園「錦景苑」のライトアップでは、滝の周りに植えられた約100本のモミジが池に映り込み、赤や黄色の趣深い景色を味わえます。京都紅葉のライトアップをゆったりと楽しめる穴場スポットです。

●四季の絵が美しい「いづり御朱印」

長岡京市在住の日本画家・丸山勉氏による四季折々の景色を鮮やかに表現した「いづり御朱印」を授与しています。10月～12月は「紅葉」を授与。錦景苑を楽しんだ後、紅葉の思い出にお持ち帰りください。



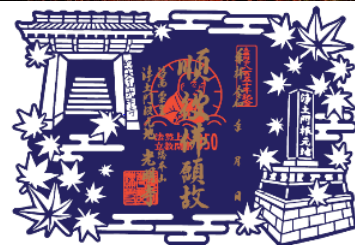
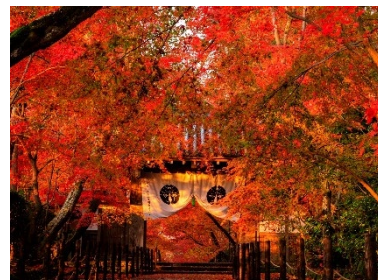
<報道関係の方からのお問い合わせ先>

京都府長岡京市商工観光課 担当：上田 TEL：075-955-9515（直通）・090-9166-1014（個人）

【11/11～12/3】 秋の特別入山 @西山浄土宗総本山 光明寺 (せいざんじょうとしゅうそうほんざんこうみょうじ)

●「そうだ京都、行こう。」の CM にも起用・京都屈指の紅葉寺

JR 東海「そうだ京都、行こう。」のポスターに光明寺の写真が起用された京都屈指の紅葉名所。ポスターに使われた「もみじ参道」は、約 200mの参道の頭上をモミジの木が覆い、足元には散紅葉の絨毯が敷かれて、まるでもみじのトンネルをくぐっているよう。光明寺は「平家物語」で知られる蓮生法師(熊谷次郎直実)開基で、法然上人が念仏の教えを最初に説いた立教開宗の地。



●紅葉の特別入山期間

日 時：令和 5 年 11 月 11 日～12 月 3 日、9 時から 16 時（受付終了）

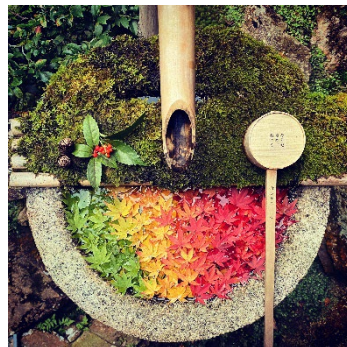
入山料：一般 1,000 円、中高生 500 円（紅葉期のみ有料）

紅葉の特別入山期間限定で、限定御朱印の授与。『燃えよ剣』をはじめ、映画撮影のロケ地として使われる、通常非公開の「釈迦堂」の特別公開や、寺宝展も開催中です。

【11/11～12/3】 紅葉ウイーク @柳谷観音楊谷寺 (やなぎだにかのんようこくじ)

●SNS で大人気！“花手水発祥の地”

柳谷観音楊谷寺は手水鉢に季節の花を美しく浮かべる“花手水発祥の地”。SNS で人気に火が付き、全国からファンが訪れるお寺です。1200 年以上の歴史を持ち、“西の清水”と呼ばれ、天皇家をはじめ“眼病平癒”の信仰を集める。紅葉ウイークでは限定御朱印や上書院・寺宝庫の特別公開、名勝庭園「浄土苑」のライトアップ（予約制）、押し花朱印づくり体験などもあります。



●紅葉ウイーク

日 時：令和 5 年 11 月 11 日～12 月 3 日、9 時～16 時 30 分（受付終了）

拝観料：700 円（上書院拝観別途 800 円）

もみじウイーク限定で、押し花をあしらった御朱印やオリジナルデザインの御朱印帳を授与。かつて貴賓室としても使われ、映画『日本のいちばん長い日』のロケ地にもなった「上書院」を特別公開。作庭家・重森美玲が古都百庭に選んだ名勝庭園「浄土苑」の美しい紅葉を眺めることができます。

【11/11～12/3】 乙訓寺重要文化財特別公開 @乙訓寺 (おとくにでら)

<乙訓寺重要文化財特別公開>

日 時：令和 5 年 11 月 11 日～12 月 3 日、9 時から 16 時

拝観料：1,000 円（高校生以上）※解説パンフレット付

●最古の一日造立仏！わずか一日で彫り上げられた祈りの十一面観音

乙訓寺で 2023 年に新たに国重要文化財の指定を受けた「木造十一面観音立像」と同じく重要文化財の「毘沙門天立像」の特別公開を開催中。

乙訓寺は、聖徳太子の創建と伝わり、嵯峨天皇の命により空海が別当を務めた際、最澄と初めて出会ったお寺。十一面観音は、解体修理の際に、仏像内に納められていた古文書から、国内最古の一日造立仏であることが明らかになりました（一日造立仏とは、一日で造立供養された仏像）。

毘沙門天立像は、憂いを帯びた表情から、“幽愁の毘沙門天”の異名を持ちます。公開期間中はパネル展示による解説を行っています。



木造十一面観音立像



毘沙門天立像